



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2017年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2016年11月15日

株式会社ケアサービス
(東証JASDAQ 2425)

- P. 3 2017年3月期 第2四半期連結決算概要
- P. 1 4 2017年3月期 通期連結業績予想概要
- P. 1 8 2017年3月期 上半期トピックス
- P. 2 3 中期成長戦略の推進
- P. 3 6 参考資料



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2017年3月期 第2四半期連結決算概要

2017年3月期 第2四半期実績（累計）（16-5-13付 対予想比）

- 売上高： 対予想比 0.2%超過達成
- 営業利益： 同 100.0%未達
- 経常利益： 同 44.3%未達
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 70.5%未達

※ 2016年10月21日に「平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をリリースしており、その予想数値と実績との差異はございません。

(百万円)	17/3月期 2Q (連結)		17/3月期 2Q (連結)		対予想比 (5/13付)	
	予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,219	100.0%	4,226	100.0%	7	0.2%
介護事業	3,150	74.7%	3,136	74.2%	△ 14	-0.5%
エンゼルケア事業	791	18.8%	790	18.7%	0	-0.1%
フォーライフ事業	277	6.6%	299	7.1%	22	8.2%
営業利益	115	2.7%	0	0.0%	△ 115	-100.0%
経常利益	113	2.7%	63	1.5%	△ 50	-44.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	64	1.5%	19	0.5%	△ 45	-70.5%

2017年3月期 第2四半期実績（累計）決算サマリ（対前期比）

- 売上高： 対前期比 3.3%増収
- 営業利益： 同 100.0%減益
- 経常利益： 同 39.4%減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 68.4%減益

(百万円)	16/3月期 2Q (連結)		17/3月期 2Q (連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,093	100.0%	4,226	100.0%	133	3.3%
売上総利益	503	12.3%	466	11.0%	△ 37	-7.4%
販売費及び一般管理費	404	9.9%	466	11.0%	62	15.4%
営業利益	99	2.4%	0	0.0%	△ 99	-100.0%
経常利益	103	2.5%	63	1.5%	△ 40	-39.4%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	0	0.0%	22	0.5%	22	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	1.5%	19	0.5%	△ 41	-68.4%

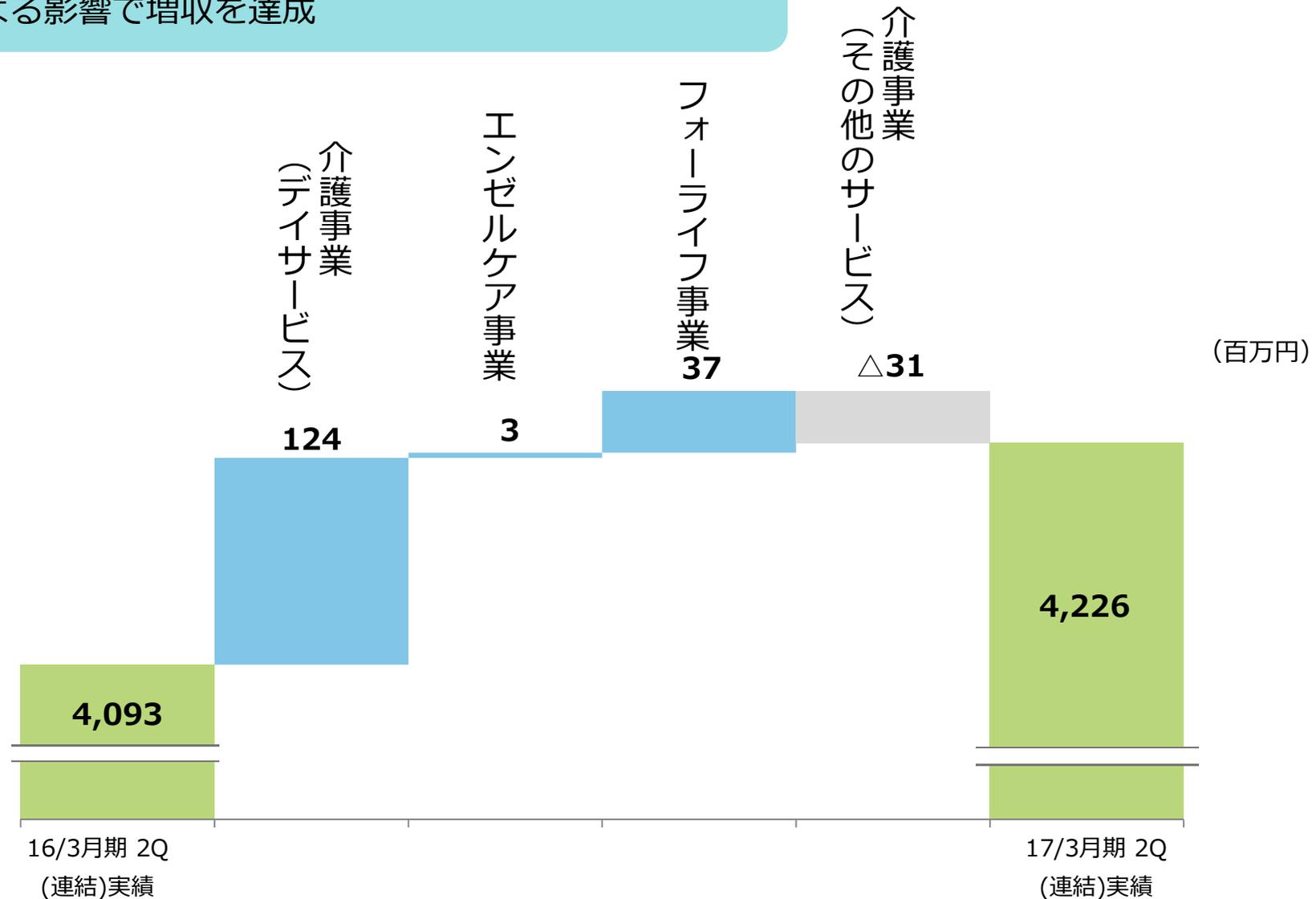
2017年3月期 第2四半期実績（累計）事業別業績概要

- 介護事業： 対前期比 3.0%増収 8.1%減益
- エンゼルケア事業： 同 0.4%増収 35.5%減益
- フォーライフ事業： 同 14.1%増収 207.1%増益

(百万円)	16/3月期 2Q (連結)		17/3月期 2Q (連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	4,093	100.0%	4,226	100.0%	133	3.3%
介護事業	3,043	74.4%	3,136	74.2%	92	3.0%
エンゼルケア事業	787	19.2%	790	18.7%	3	0.4%
フォーライフ事業	262	6.4%	299	7.1%	37	14.1%
セグメント利益	417	10.2%	359	8.5%	△ 58	-13.9%
介護事業	256	8.4%	235	7.5%	△ 20	-8.1%
エンゼルケア事業	172	21.9%	111	14.1%	△ 61	-35.5%
フォーライフ事業	△ 11	-4.4%	12	4.1%	23	207.1%
調整額	△ 318	-7.8%	△ 359	-8.5%	△ 41	-13.0%
営業利益	99	2.4%	0	0.0%	△ 99	-100.0%

2017年3月期 第2四半期実績（累計）売上高の増減分析

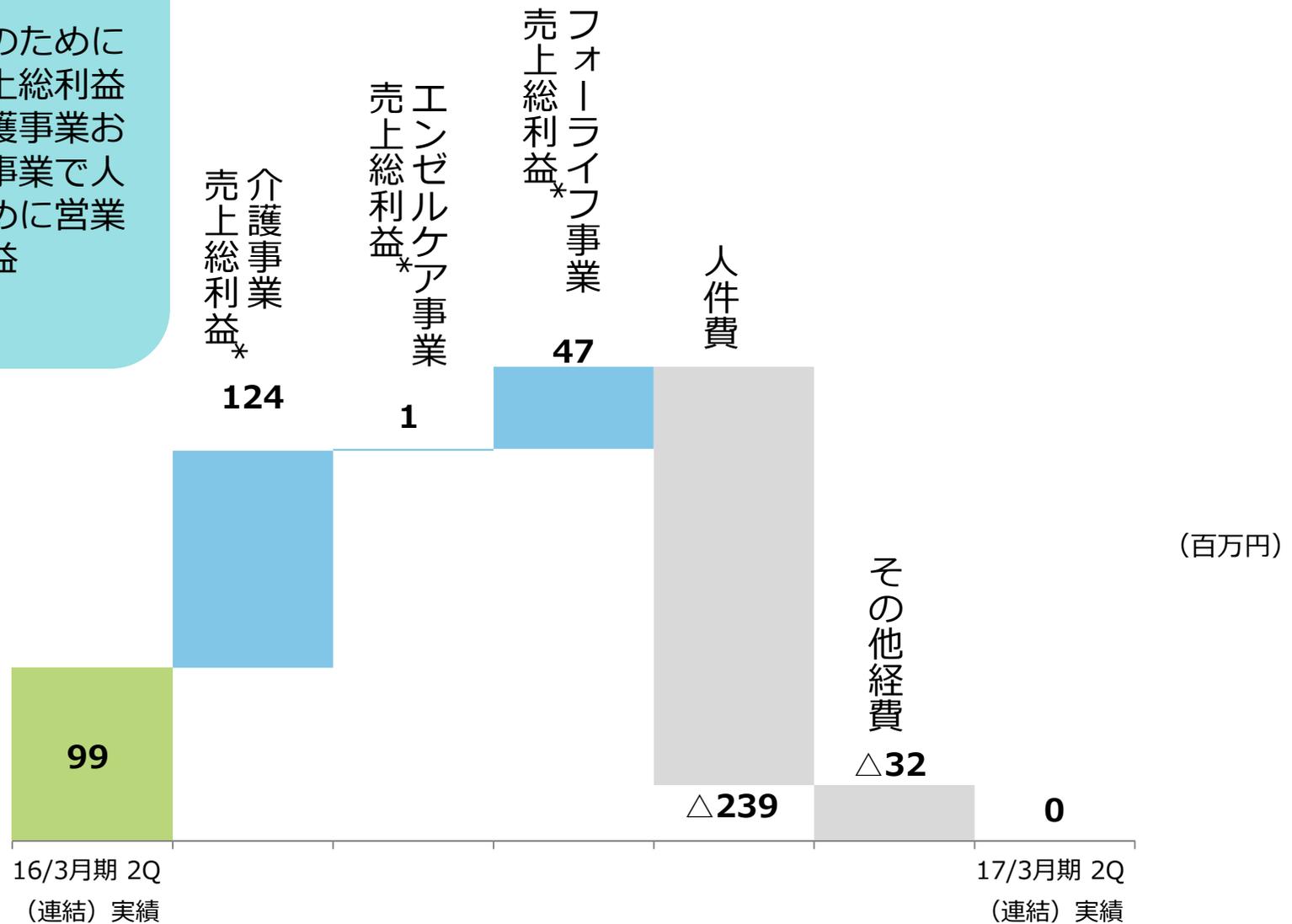
すべての事業において、対前期比で増収を達成
特に介護事業（デイサービス）では、加算の増加、日曜営業、
定員増による影響で増収を達成



2017年3月期 第2四半期実績（累計） 営業利益の増減分析

<全体>

各事業で売上高増のために人件費を除いた売上総利益は上昇したが、介護事業およびエンゼルケア事業で人件費が増加したために営業利益は前期比で減益



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です

2017年3月期 第2四半期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	16/3月期末		17/3月期 2Q末		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,057	71.3%	1,977	70.8%	△ 80
現金・預金	650	22.5%	471	16.9%	△ 178
売掛金	1,268	44.0%	1,305	46.7%	36
固定資産	829	28.7%	815	29.2%	△ 13
有形固定資産	316	11.0%	318	11.4%	2
無形固定資産	131	4.5%	111	4.0%	△ 20
投資その他の資産	381	13.2%	386	13.8%	4
資産合計	2,887	100.0%	2,793	100.0%	△ 93
流動負債	1,060	36.7%	1,098	39.3%	38
買掛金	145	5.0%	146	5.2%	1
短期借入金	-	0.0%	90	3.2%	90
1年以内返済予定の 長期借入金	232	8.0%	218	7.8%	△ 13
固定負債	604	20.9%	479	17.2%	△ 124
長期借入金	418	14.5%	312	11.2%	△ 106
負債合計	1,665	57.7%	1,578	56.5%	△ 86
株主資本	1,223	42.4%	1,218	43.6%	△ 5
資本金	205	7.1%	205	7.3%	0
資本剰余金	138	4.8%	138	4.9%	0
利益剰余金	998	34.6%	992	35.5%	△ 5
自己株式	△ 117	-4.1%	△ 117	-4.2%	0
為替勘定調整勘定	△ 2	-0.1%	△ 3	-0.1%	△ 1
純資産合計	1,221	42.3%	1,215	43.5%	△ 6
負債・純資産合計	2,887	100.0%	2,793	100.0%	△ 93

【ご参考】 自己資本比率の推移

- 16/3月期末 42.3%
- 17/3月期 2Q末 43.5%

2017年3月期 第2四半期（累計）キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	16/3月期 2Q（連結） 実績	17/3月期 2Q（連結） 実績	対前期比 増減額
税引前四半期純利益	103	40	△ 63
減価償却費	71	62	△ 8
受取和解金	-	△ 60	△ 60
売上債権の増減額	△ 100	△ 37	63
仕入債務の増減額	9	1	△ 8
その他	△ 24	△ 50	△ 25
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	60	△ 42	△ 102
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 53	△ 51	2
借入金の増減額	△ 120	△ 30	90
配当金の支払額	△ 22	△ 24	△ 1
その他	△ 68	△ 28	39
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 211	△ 83	128
現金及び現金同等物の増減額	△ 204	△ 178	26
現金及び現金同等物の期末残高	387	471	83

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	16/3月期				17/3月期 2Q末				対前期末比 増減数
	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	
介護事業	2	6	0	83	1	1	0	84	1
デイサービス（通所介護サービス）	1	3	0	53	0	1	0	53	0
訪問入浴サービス	0	2	0	12	0	0	0	12	0
その他サービス	1	1	0	18	1	0	0	19	1
エンゼルケア事業	0	0	0	21	0	0	0	21	0
フォーライフ事業	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	16/3月期 2Q末	17/3月期 2Q末	対前期末比 増減数
介護事業	1,000	1,001	1
エンゼルケア事業	203	215	12
フォーライフ事業	65	73	8
合計	1,268	1,289	21

< 17/3月期 2Q 新規出店・統廃合店舗 >

新規出店

- 訪問看護おおた【16/7】

統廃合・移転など

- デイサービスセンター大森の定員を増員し（15名増）、
デイサービスセンター大森西に移転【16/8】

※事業別事業所数及び事業別従業員数の推移には、
上海ケアサービスの数値は含まれておりません。

介護サービス別売上高とご利用件数の推移

- 既存店におけるお客様の増加により、売上高・ご利用件数ともに増加
- デイサービスにおける日曜営業の開始により、売上高・ご利用件数ともに増加

	14/3月期 (個別)実績			15/3月期 (個別)実績			16/3月期 (連結)実績			17/3月期 (連結)実績
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高【百万円】										
介護事業	2,684	2,629	5,313	2,838	2,756	5,594	3,043	3,016	6,060	3,136
デイサービス (通所介護サービス)	1,937	1,905	3,842	2,076	2,020	4,096	2,271	2,280	4,552	2,396
訪問入浴サービス	513	496	1,009	522	494	1,016	506	467	973	473
その他	234	228	462	240	242	482	265	268	534	267
ご利用件数										
介護事業	264,603	258,556	523,159	273,178	262,575	535,753	279,413	276,709	556,122	284,109
デイサービス (通所介護サービス)	188,379	185,576	373,955	200,179	194,558	394,737	210,539	210,958	421,497	220,064
訪問入浴サービス	37,256	36,070	73,326	37,203	35,198	72,401	35,084	32,431	67,515	32,222
その他	38,968	36,910	75,878	35,796	32,819	68,615	33,790	33,320	67,110	31,823

※2016年3月期 2Qより連結決算に移行したため2015年3月期以前は個別決算の数値を利用しています。

介護事業（デイサービス） ご利用件数の推移





介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2017年3月期 通期連結業績予想概要

2017年3月期 業績予想サマリ

■ エンゼルケア事業・・・エンゼルケア1事業所開設、既存21事業所の稼働率向上を推進

■ 介護事業

- ・ デイサービス1事業所移転
- ・ デイサービス49事業所の稼働率向上を推進。
- ・ デイサービス13事業所で展開している日曜営業の一層の稼働率向上を推進
- ・ 訪問入浴サービス12事業所の稼働率向上を推進
- ・ 訪問介護サービス1事業所の稼働率向上を推進
- ・ 訪問看護1事業所開設
- ・ 中国子会社における介護事業本格化

■ フォーライフ事業・・・既存施設4事業所の入居率向上を推進

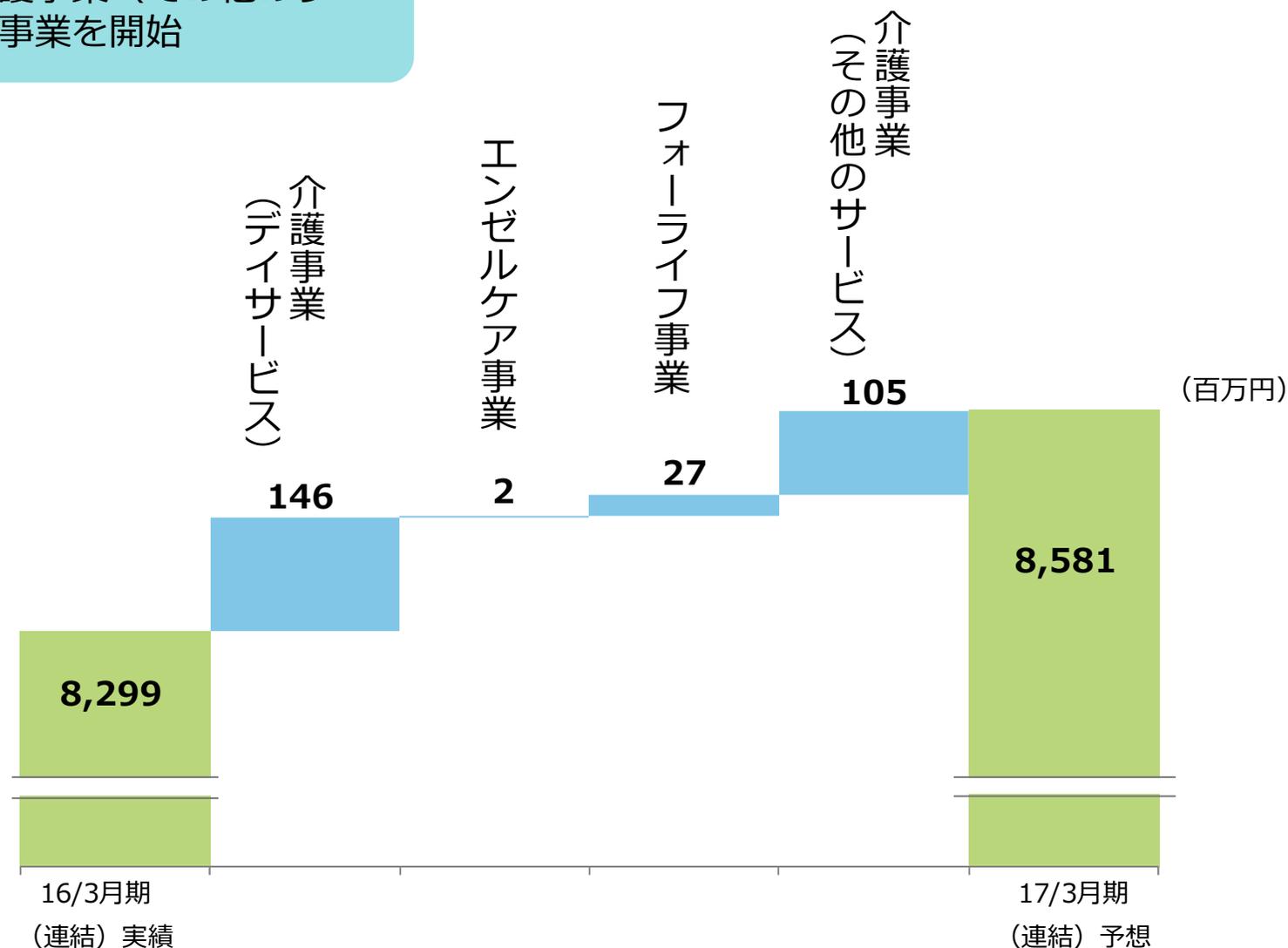
※主要拠点数には上海ケアサービスの数値は含まれておりません。

	(単位)	16/3月期	16/3月期	16/3月期	17/3月期	17/3月期	17/3月期	対前期比	
		上期実績 (連結)	下期実績 (連結)	通期実績 (連結)	上期実績 (連結)	下期予想 (連結)	通期予想 (連結)	増減額	増減率
売上高	(百万円)	4,093	4,205	8,299	4,226	4,354	8,581	282	3.4%
介護事業	(百万円)	3,043	3,016	6,060	3,136	3,175	6,312	251	4.2%
エンゼルケア事業	(百万円)	787	896	1,684	790	895	1,686	2	0.1%
フォーライフ事業	(百万円)	262	292	555	299	283	583	27	5.0%
営業利益	(百万円)	99	143	242	0	283	283	40	16.8%
経常利益	(百万円)	103	151	255	63	215	278	22	8.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	60	86	146	19	139	158	11	8.1%
主要拠点数									
介護事業	(拠点)	83	83	83	84	76	76	△7	-8.4%
エンゼルケア事業	(拠点)	21	21	21	21	22	22	1	0.0%
フォーライフ事業 ※	(拠点)	4	4	4	4	4	4	0	0.0%

※ 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

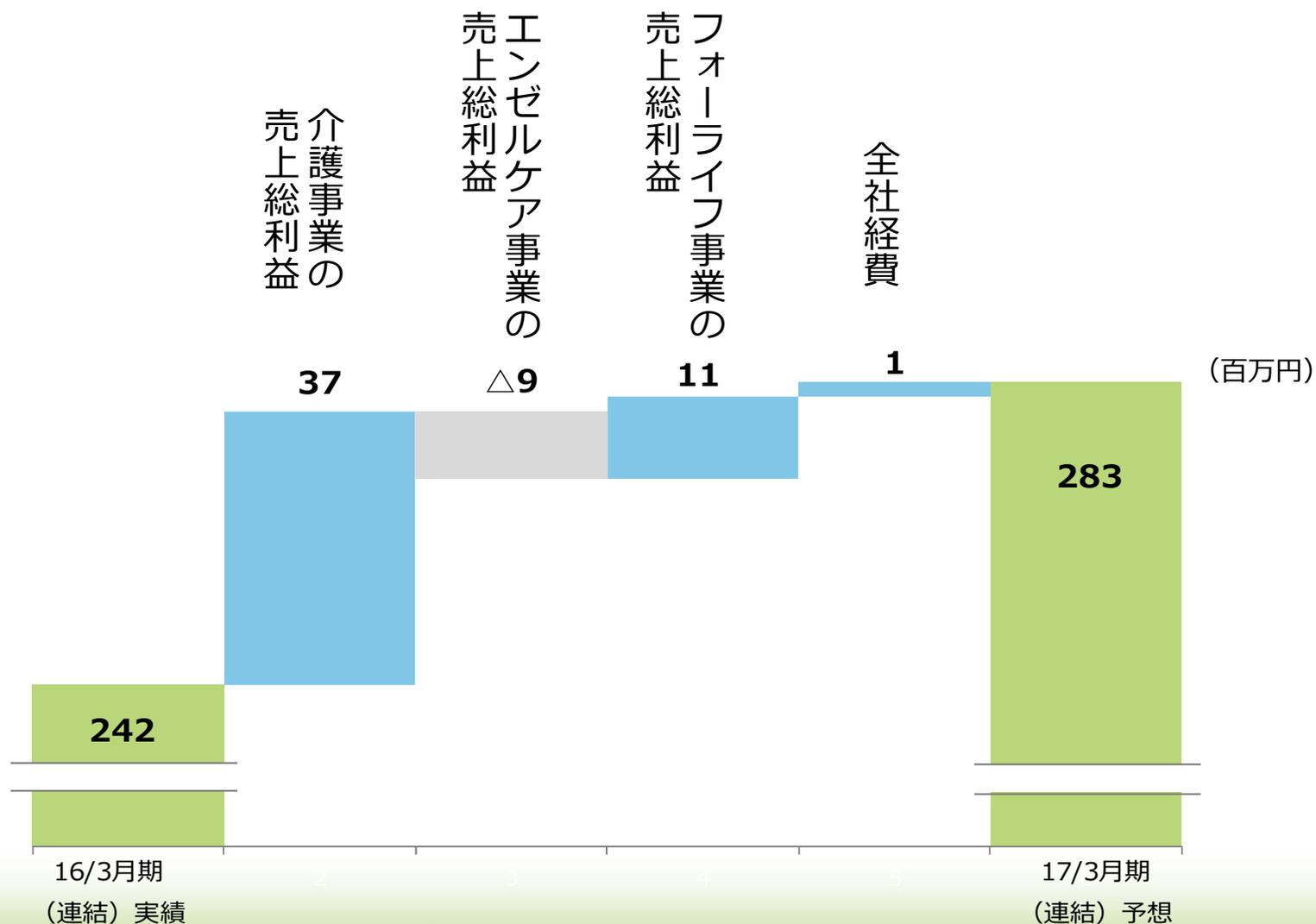
2017年3月期 売上高予想の増減分析

介護事業（デイサービス）では、日曜営業の稼働率向上を推進、介護事業（その他のサービス）では、訪問看護事業を開始



2017年3月期 営業利益予想の増減分析

エンゼルケア事業において競争激化による受注単価の引き下げ等の減益要因はあるものの、介護事業およびフォーライフ事業の伸びにより、増益を予定。



2017年3月期 上半期トピックス

中国子会社の訪問入浴事業が介護コンテストにて最優秀賞を受賞

■ 上海市民政局主催の介護コンテストにて訪問入浴事業が受賞

⇒2017年より介護保険制度が開始されている上海市において、2016年5月に行われた上海市行政が主催する介護コンテストで中国子会社「上海福原護理服務有限公司」(以下、上海ケアサービス)の訪問入浴事業が最優秀賞を受賞 海外資本の民間法人で唯一の受賞



介護コンテスト授賞式の様子

(最優秀賞は全部で10組 左から5人目が上海ケアサービススタッフ)

訪問看護事業の開始

- **介護と医療の連携強化のけん引役として、2016年7月事業開始**
⇒訪問看護、最初の事業所として本社のある東京都大田区の蒲田駅近くに「訪問看護おおた」を開設
- **地域から求められる訪問看護サービスとして体制確立**
⇒地域の方々にご利用いただけるよう、リハビリ、看護、看取りなどのサービスを提供できる体制を確立



デイサービスセンター大森から定員を増やし大森西に移転

- 施設の老朽化及び利用希望の増加によりデイサービスセンター大森西へ移転
⇒デイサービスセンター大森の施設老朽化およびご利用希望の増加により、定員数25名から15名増やし40名として、2016年8月に大森西へ移転
お客様全員が継続してご利用



デイサービスセンター大森西 外観



拡張したフロアでのレクリエーションの様子

中国上海においてエンゼルケア事業開始についての契約締結

- **上海でのエンゼルケアサービス提供に向け2016年9月に国営葬儀場と契約締結**
⇒上海ケアサービスは、エンゼルケアサービス提供のため
上海に15ある国営葬儀場の1つ『上海松江区葬儀場』との契約を締結
- **日本で実務経験を積んだリーダースタッフが高い品質のサービスを提供**
⇒日本への留学経験があり、日本語堪能な中国人スタッフが
リーダースタッフとして従事する。
すでに当社でのエンゼルケア研修を
修了し、実務経験も積んでいるので、
高い品質のエンゼルケアサービスを
提供可能



中期成長戦略の推進

1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化

1. **ドミナント戦略の推進**

2. **既存事業の強化**

3. **新たな取り組み**

4. **採用、教育・研修の強化**

次なる展開を意識しての利益確保と強固なドミナントエリア形成

■ 事業所の統廃合による合理化および人員配置の最適化の推進

⇒採算性が低い店舗
赤字が継続している店舗 } 他店舗と**統合**し、廃止



・お客様引継ぎ
・人員の最適化



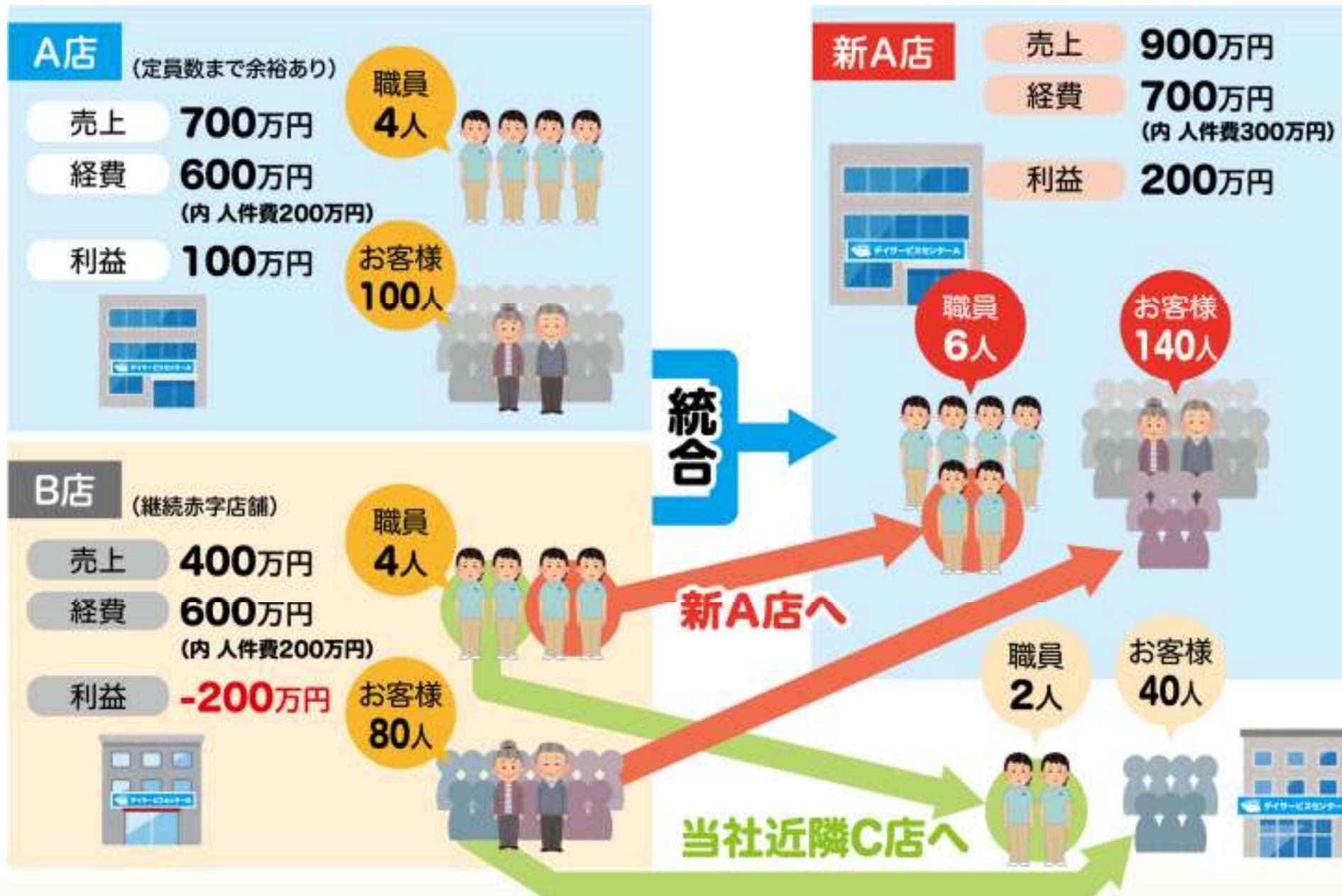
高収益体質な事業所へ

- ・ 10/31付 デイサービスセンター 阿佐ヶ谷南・・・他事業所と統合
 デイサービスセンター 両国・・・他事業所と統合
 訪問介護 北糀谷・・・他事業所と統合
- ・ 11/30付 デイサービスセンター 下北沢・・・他事業所と統合
 訪問介護 千束・・・他事業所と統合

⇒統合が難しい事業所については、事業の根本的見直しを行い、
事業所の**休止・廃止**を実施する

- ・ 10/30付 ショートステイ 西蒲田・・・休止
- ・ 12/30付 デイサービスセンター 小新および居宅支援 小新・・・廃止

利益を確保し、強固なドミナントエリア形成のための原資とする



※当図の各数値はわかりやすくイメージしやすいものを利用しており、実際の数値とは異なります。

1. ドミナント戦略の推進

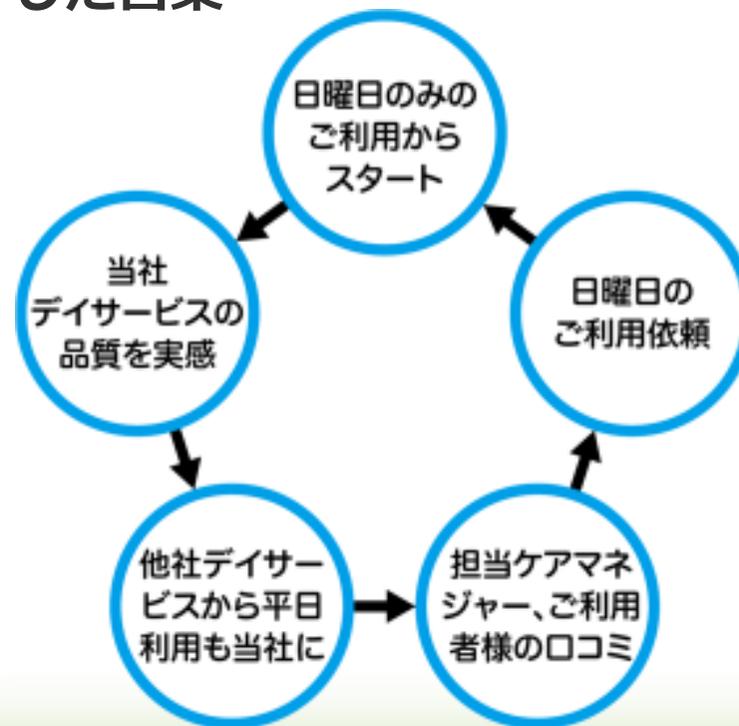
2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化

デイサービスセンター日曜営業体制の確立

- **デイサービスセンター日曜営業について第一次計画の体制構築完了**
⇒2015年6月～2016年11月 第一次日曜営業計画の体制構築
全13店舗でデイサービスセンター2～5店舗に1店舗の割合で日曜営業
今後は、近隣店舗と一体となり、稼働率向上
- **日曜営業の強みを生かした営業**



エンゼルケアにおける大手互助会・葬儀社との関係強化

- **高い品質のエンゼルケアにご理解いただける大手互助会・葬儀社への営業強化**
⇒葬儀社が乱立し、葬儀料金の価格破壊により葬儀の低価格化が進み、葬儀の品質が低下。ケアサービスでは、高品質で感動いただけるエンゼルケアサービスのご提供にこだわり、賛同いただけるビジネスパートナーとの関係を強化。
- **繁忙期に対応可能な人員体制の構築**
⇒エンゼルケア事業の繁忙期となる3Q後半、4Qに大手互助会・葬儀社からの受注が増加しても対応可能な体制を予め構築する

大手互助会・葬儀社の受注に十分対応できる体制を構築し、さらなる新規獲得を目指す

1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化

上海ケアサービスによる中国でのエンゼルケア事業の開始

- **上海松江区葬儀場にて11/10よりエンゼルケアサービスを提供開始**
⇒既にエンゼルケア事業の開始について契約締結している中国の国営葬儀場である上海松江区葬儀場内にエンゼルケアサービスのご提供のみを目的とする湯灌室を設置し、上海ケアサービスが専属でサービス提供を行う
- **上海松江区殯儀館での実績をもとに次の国営葬儀場への営業を推進**
⇒国営葬儀場でのエンゼルケア実績が上がることにより、次の営業がスムーズに行える。早期のエンゼルケアサービス提供拠点の拡充を目指す



上海松江区殯儀館内
上海ケアサービス湯灌室 内観

1. **ドミナント戦略の推進**

2. **既存事業の強化**

3. **新たな取り組み**

4. **採用、教育・研修の強化**

退職防止策の強化

- **人事総務部と人材育成部の連携により新入社員（新卒・中途）のフォロー実施**
⇒人材施策の1つとして、人事総務部と人材育成部が連携し、下記施策を実施
 - ・ 新卒新入社員へのフォローアップ研修
(入社3か月後、入社半年後、1年次、2年次、3年次)
 - ・ 中途新入社員への定期的なヒアリング及びフォローアップ研修
 - ・ 管理職研修
 - ・ 退職者および事業所長へのヒアリング

退職者数が劇的に減少 ⇒ 継続的な研修・ヒアリングの徹底

第2四半期（累計）の退職者数の比較

2016年3月期 2Q（累計） 退職者数	2017年3月期 2Q（累計） 退職者数	前年同期比	減少率
175名	122名	-53名	30.3%

※退職者数は、パート従業員も含む。

ご清聴ありがとうございました。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

参考資料①

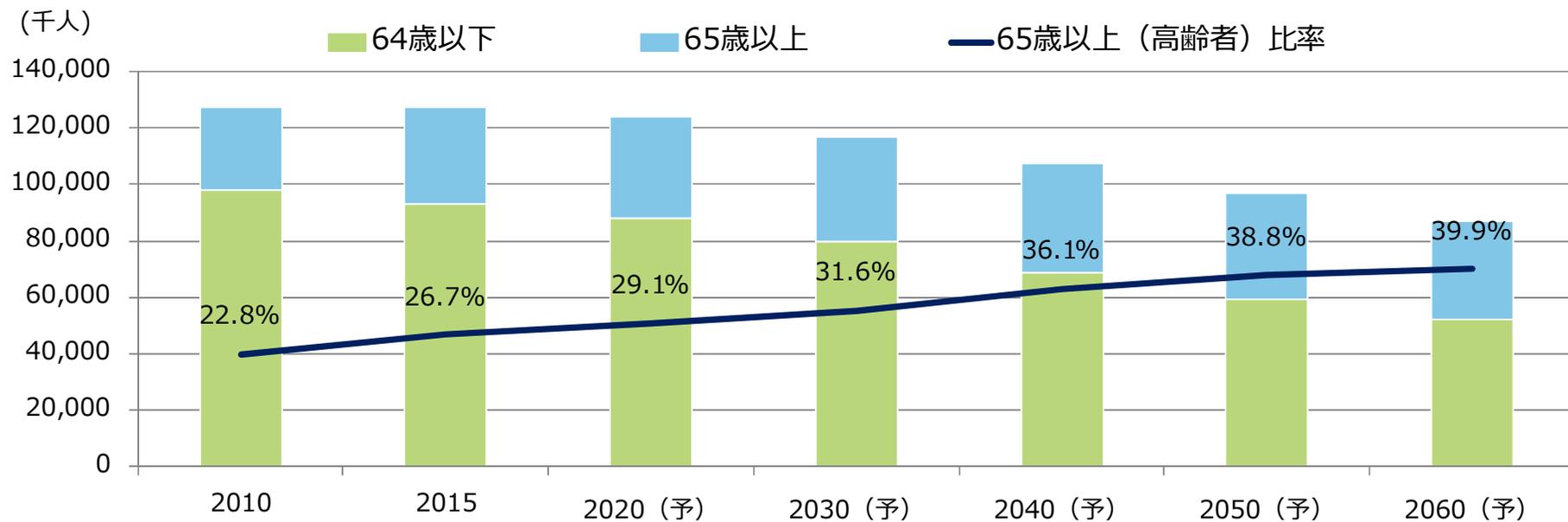
高齢者人口と介護保険法改正の推移

- 2015年以降、高齢人口が大きく拡大し、2040年時点では、65歳以上の高齢者比率が35%を超える模様

当社の見方

団塊世代に介護人口が拡大する2015年前後から、介護業者が選択される時代に入り、競争が激化すると想定

年齢区分別将来人口推計



資料：2010年は総務省「国勢調査」、2015年は総務省「人口推計（平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値）」、
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

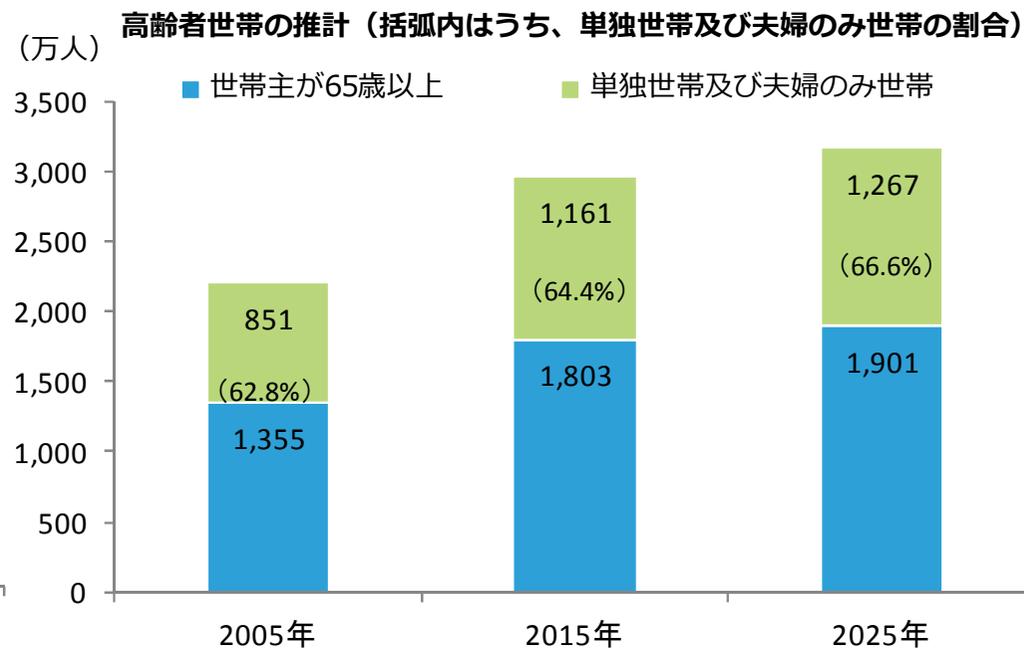
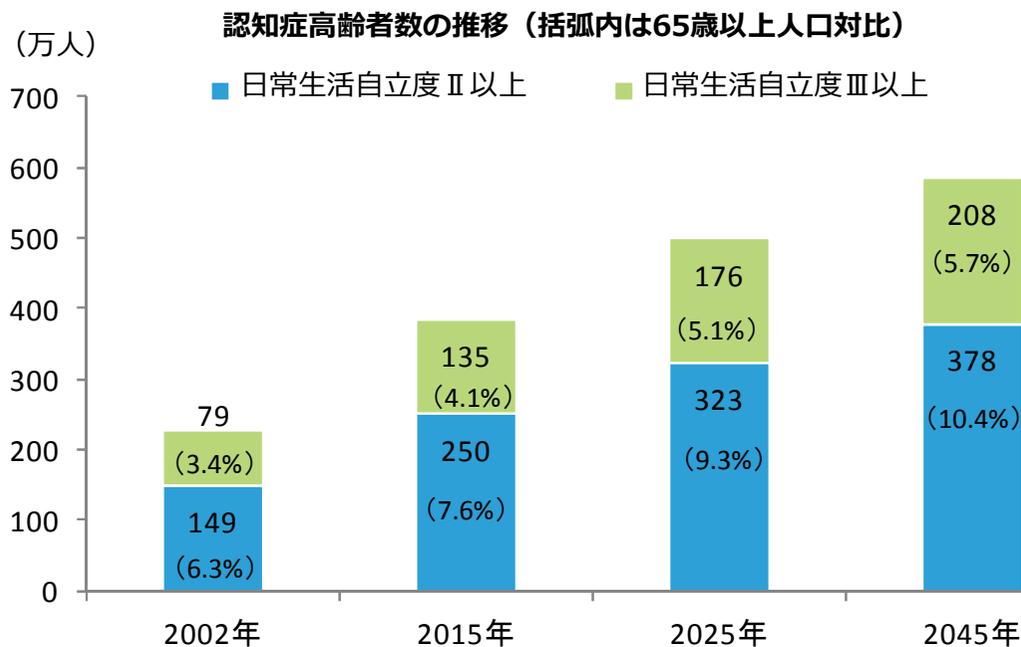
(注) 2010年の総数は年齢不詳を含む。

■ 75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加し、2055年には25%を超える見込み

	2008年	2015年	2025年	2055年
75歳以上高齢者の割合	10.4%	13.1%	18.2%	26.5%

■ 65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加

■ 世帯主が65歳以上の世帯のうち、単独世帯や夫婦のみの世帯が増加

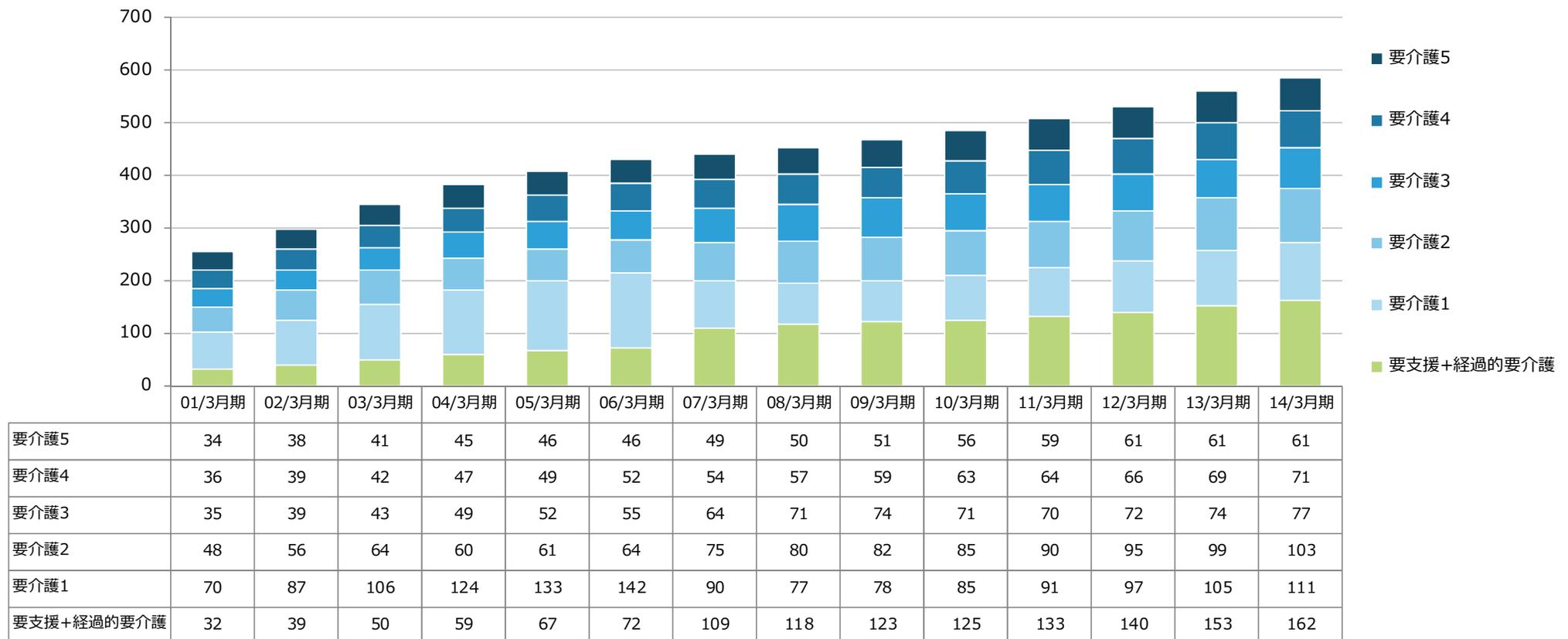


出所：公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
 H23年5月18日掲載 国土交通省 「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料
 厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋

- 高齢化の進展、介護保険制度の浸透に伴い、要介護認定者数も中長期的に拡大
- 一方で、受給者負担増の傾向により、要介護2以下が介護保険対象外になる見通し

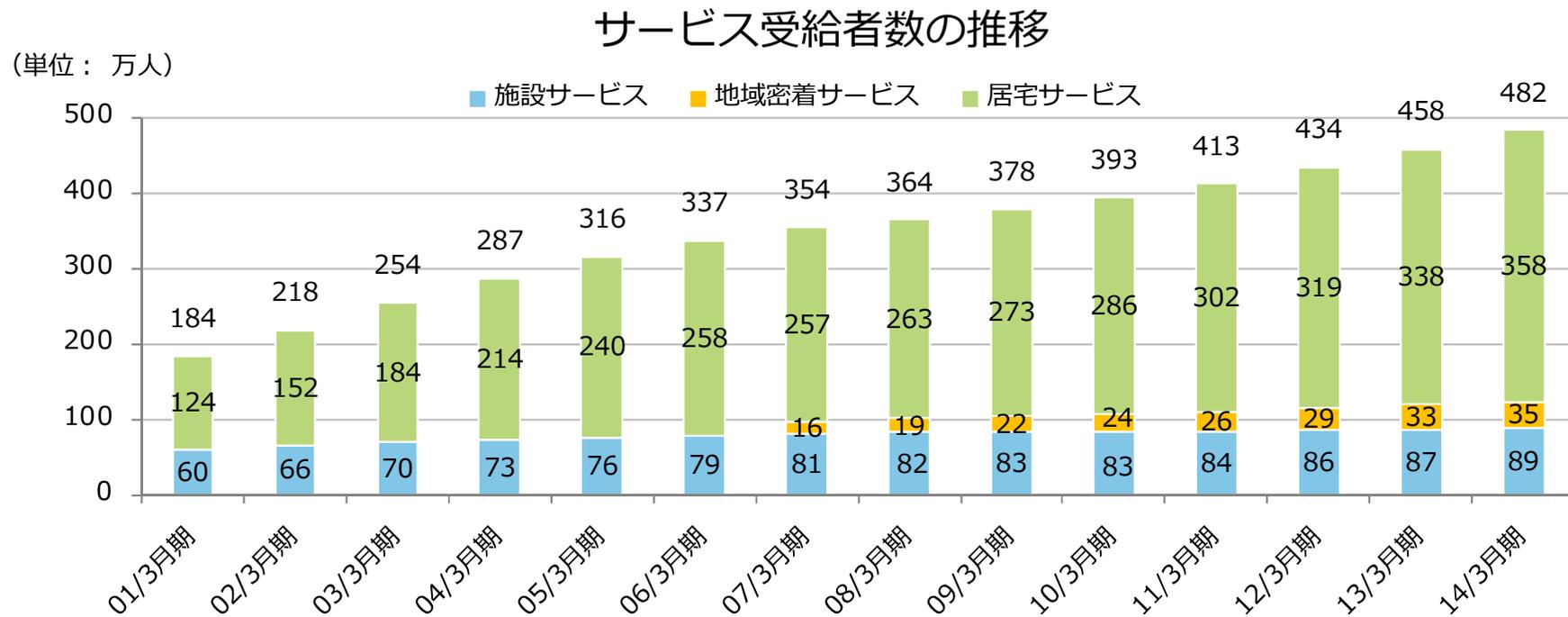
(単位：万人)

要介護（要支援）認定者数の推移



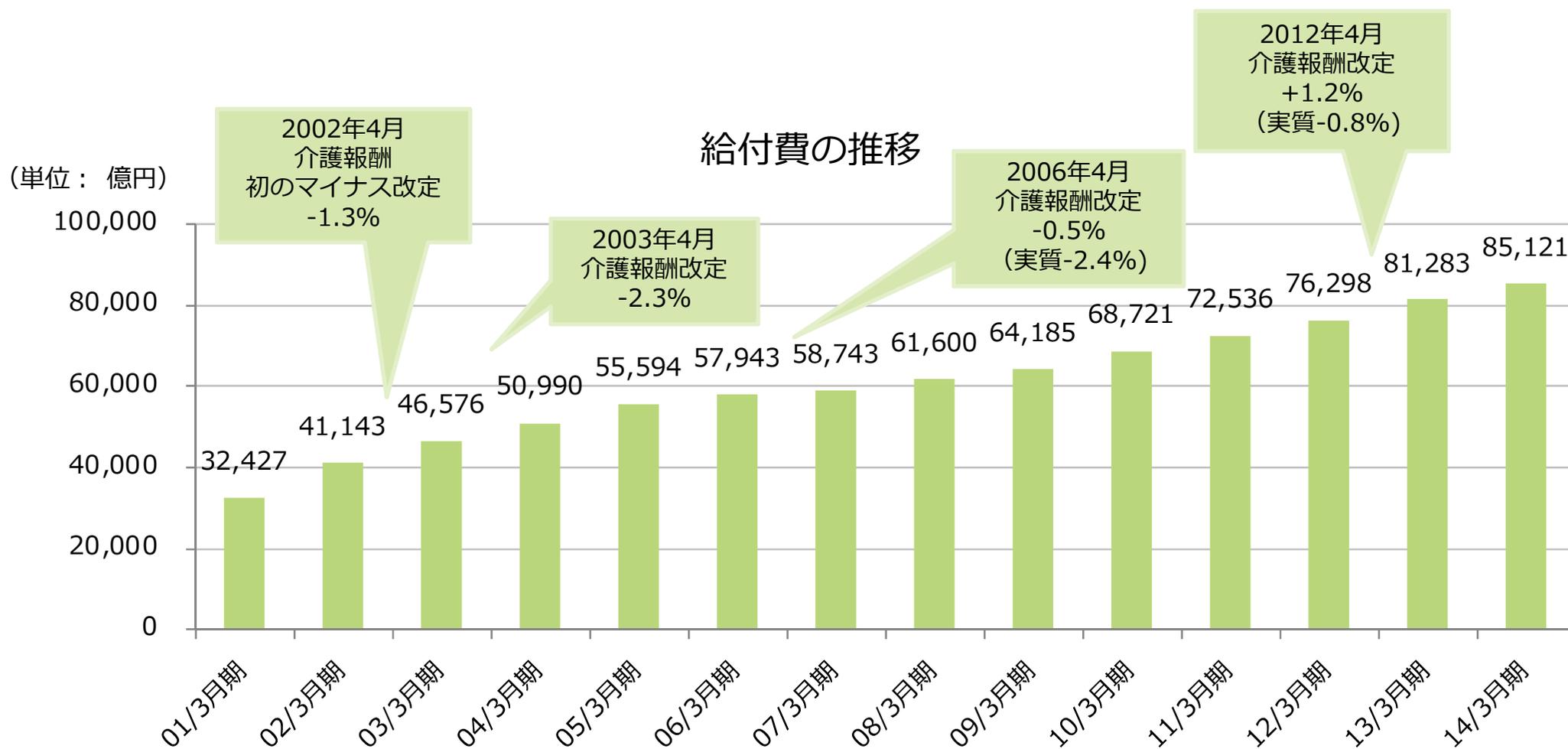
出所：平成25年度 介護保険事業状況報告

■ 高齢化に伴い、重要度を増す医療連携の居宅サービス、地域密着サービス



出所：平成25年度 介護保険事業状況報告

■ 給付費拡大に伴い、改定に際し介護報酬の引き下げが進む



出所：平成25年度 介護保険事業状況報告を基に作成

サービス種類別・地域区分別の1単位の単価

サービス種類 ※ 2015年度改正による単価 (単位:円)	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他
●療養管理 ●福祉用具	10							
●訪問介護 ●訪問入浴 ●夜間対応型 ●ケアマネジメント ●介護予防支援 ●訪問看護 ●定期巡回・随時対応型	11.40	11.12	11.05	10.84	10.70	10.42	10.21	10
●訪問リハビリテーション ●デイケア ●ショートステイ ●認知症デイサービス ●小規模多機能 ●複合型サービス	11.10	10.88	10.83	10.66	10.55	10.33	10.17	
●デイサービス ●特定施設 ●グループホーム ●地域密着特定施設 ●地域密着特養 ●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●介護療養病床 ●短期入所療養介護	10.90	10.72	10.68	10.54	10.45	10.27	10.14	

※ サービス種類については、介護予防サービスのある居宅サービス及び地域密着型サービスは介護予防サービスを含む。

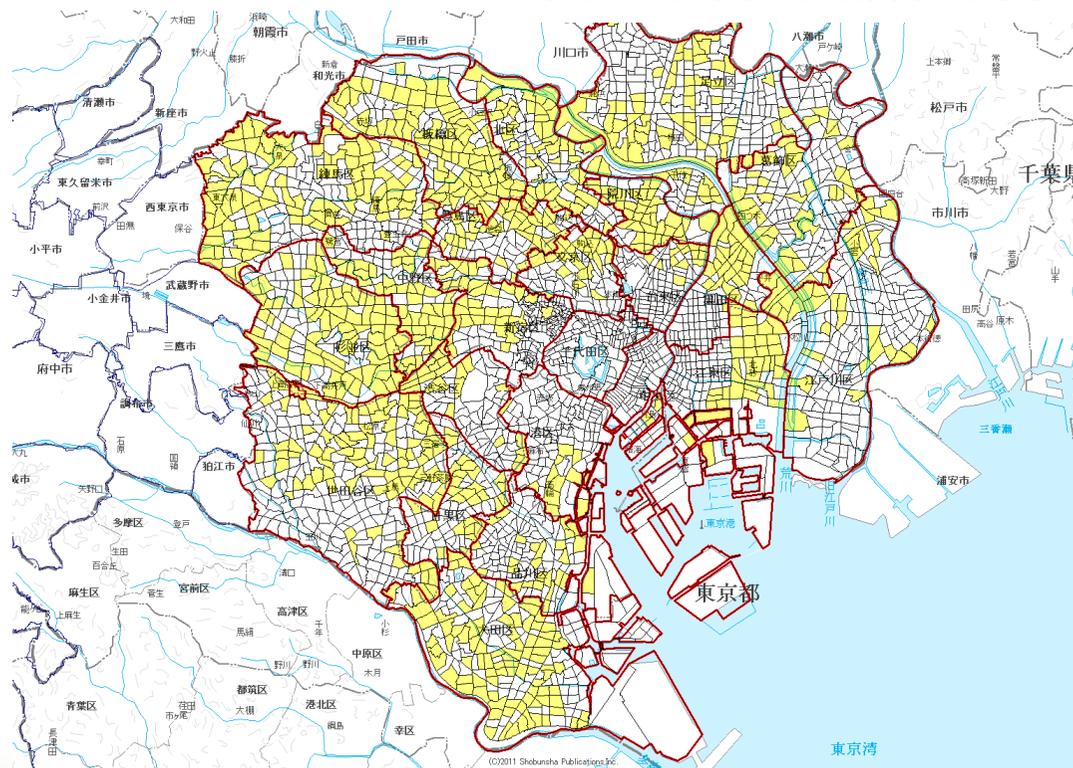
出所：ワムネット 介護保険事務処理システム変更に係る参考資料を基に作成

■ 首都圏をはじめとする都市部における急速な高齢化（65歳以上人口）の進行

都市部における高齢化人口	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	秋田県	山形県	鹿児島県	(万人)
2005年時点での高齢者人口	230	116	106	149	31	31	44	
2015年時点での高齢者人口	306	179	160	218	34	34	48	
増加率	33%	55%	50%	47%	11%	10%	10%	

出所：東京都を除き、公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
H23年5月18日掲載 国土交通省「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料
厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋
東京都データについては、東京都発行の冊子【人口動向から見た【2020年の東京】】より抜粋

東京23区内 高齢者人口分布



■ 他地域に先駆けて 高齢化が先行する東京23区

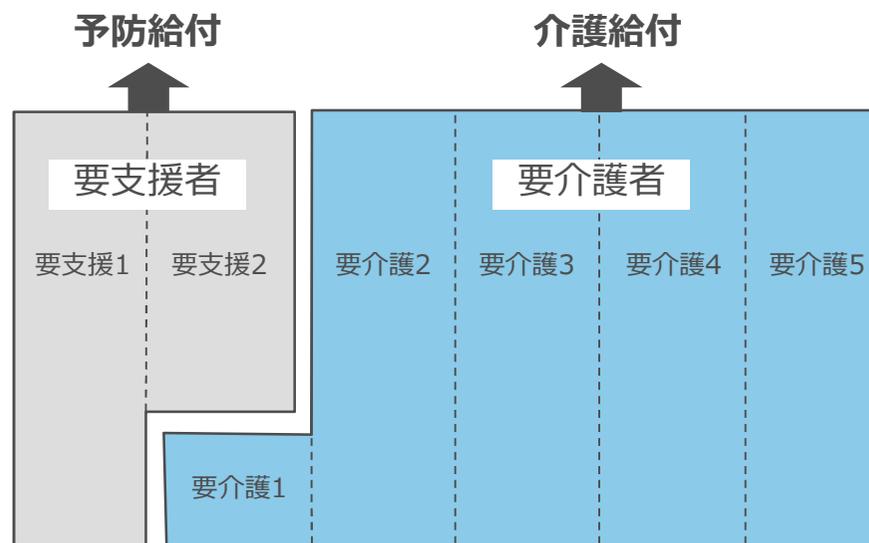
黄色：65歳以上の要介護者数が多く、
かつ25歳～69歳人口が多い地域

出所：Terra Mapで作成

地域における高齢者の自立した生活を目的に、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」実現に向けた取り組みの推進

- 医療と介護の連携の強化等
- 介護人材の確保とサービスの質の向上
- 高齢者の住まいの整備等
- 認知症対策の推進
- 保険者による主体的な取り組みの推進
- 保険料上昇の緩和

保険給付と要介護状態区分のイメージ



- 要支援者は予防給付、要介護者は介護給付とする
- 給付の効率化の観点から、要支援者に対する予防給付については、支給限度額、報酬単価の見直しを行う

現行区分： 要支援 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

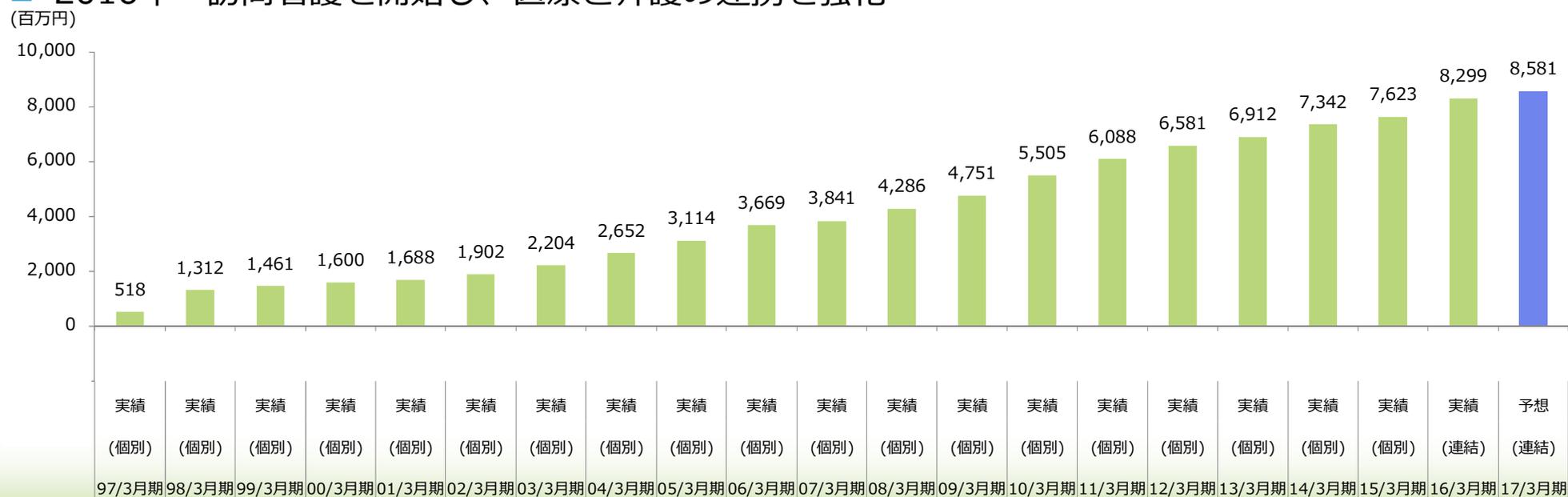
出所： 厚生労働省老健局「介護保険制度改革関連法案 -参考資料-」をもとに、当社にて作成



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

参考資料② ケアサービスの状況

- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 1983年 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設
- 1990年 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動
- 1991年 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）、ショートステイなどを開設
- 2015年 中国上海市にて介護事業を行う完全子会社『上海福原護理服務有限公司』を設立
- 2016年 訪問看護を開始し、医療と介護の連携を強化



介護事業、エンゼルケア事業の双方を持つ当社の強みを活かした新規事業への取り組み

「心豊かな人生を」「そして感動の旅立ち」の市場をつなぐ事業モデルを構築

高齢化の進捗とともに
拡がるサポート領域
重要となる通所介護サービスの進化

生前準備支援

- 生活支援サポート
(クリーンサービス・介護用具貸与・見守りサービス等)
- エンディングノート(元気なうちから準備)
- エンディングセミナー
(ケアマネジャー、介護・医療従事者向け)
- 葬儀相談(自分の求める形での葬儀)

居宅支援(介護の相談窓口)

デイサービス(通常/認知症) 配食(安全な食事)

訪問介護

訪問入浴

サービス付き高齢者向け住宅(フォーライフ)

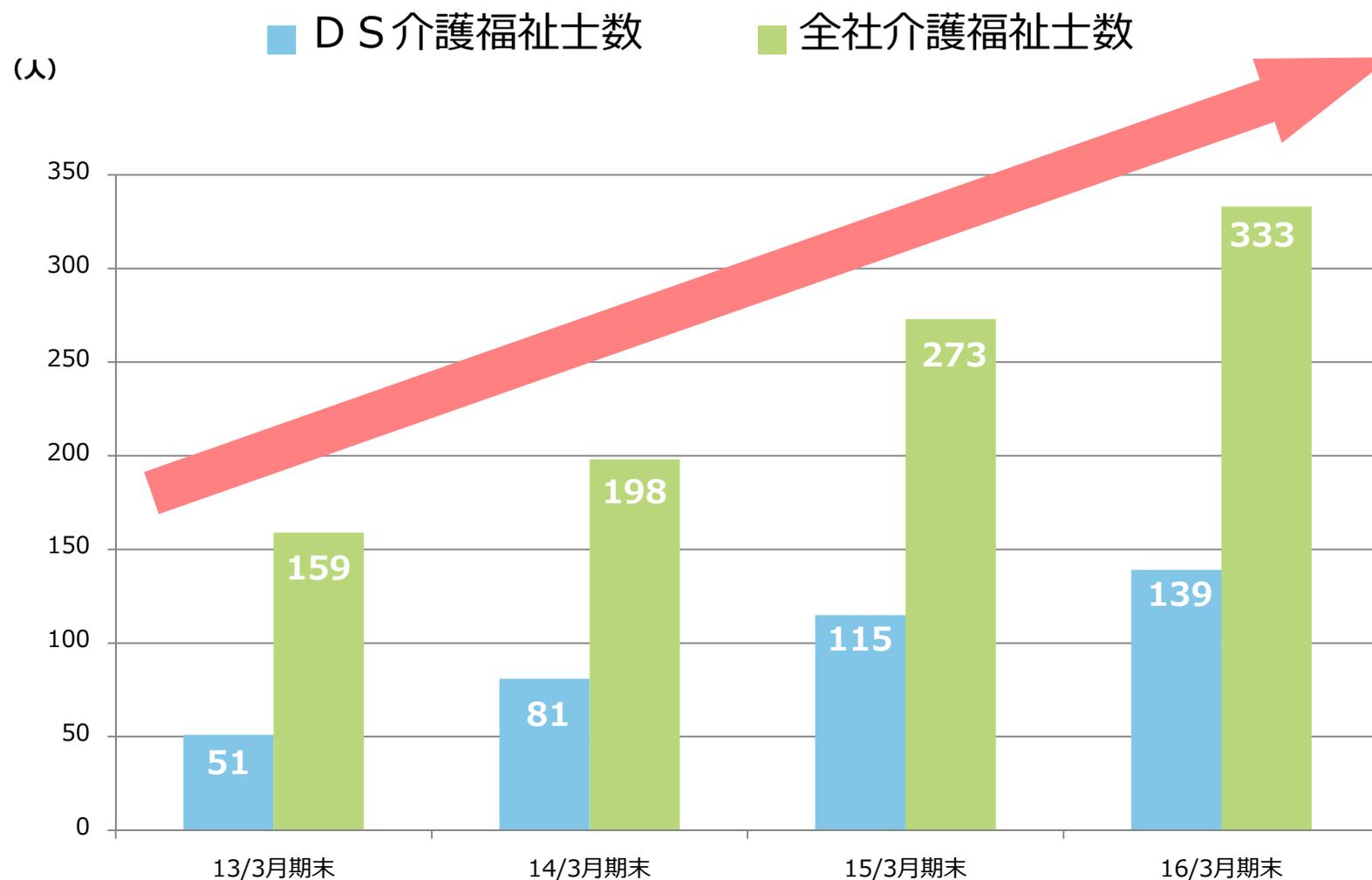
訪問看護(看取り) ⇒ 2016年7月開始

心豊かな人生を(介護事業)

介護の到達点
～感動の旅立ち～
「湯灌サービス」
「お化粧品サービス」

旅立ち後の支援
～残されたご家族に～
「遺品整理サービス」
「遺品供養サービス」
「ハウスクリーン
サービス」

そして感動の旅立ち(エンゼルケア事業)



- 教育・研修の強化により、着実に介護福祉士数が増加

■ 市場環境の前提

- 社会の高齢化は引き続き進むものの、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	16/3月期 実績	17/3月期 予想	18/3月期 計画	19/3月期 計画
売上高	(百万円)	8,299	8,581	8,978	9,136
介護事業	(百万円)	6,060	6,312	6,615	6,707
エンゼルケア事業	(百万円)	1,684	1,686	1,756	1,827
フォーライフ事業	(百万円)	555	583	606	600
営業利益	(百万円)	242	283	310	274
経常利益	(百万円)	255	278	304	269
当期純利益	(百万円)	146	158	176	156

主要拠点数

デイサービス	(拠点)	53	49	49	49
エンゼルケア	(拠点)	20	21	22	23
フォーライフ※	(拠点)	4	4	4	4

※ 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部

TEL 03-5753-1170

E-mail ir@care.co.jp